



学校だより

北門

【校 訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 2

平成30年5月31日

修学旅行の成果のご報告・学校行事へのご支援のお願い

校長 村田 昌俊

5月13日から、3学年生徒150名、教職員10名で3泊4日の修学旅行に出かけて参りました。1日目は多少雨に降られましたが、2日目から最終日までは晴天に恵まれ、たいへん充実した修学旅行を実施することができました。なかでも団長としてとてもうれしかったことは、最終日のホテルにおいて、同宿のお客様から、「先生、あなたの学校の生徒さんは皆さん素晴らしい生徒さんですね」と称賛されたことです。また、バスガイドさんや旅行者の方々からも、「こんなに反応のよい生徒さんは久しぶりです」「今回は楽しくお仕事をさせていただきました」というお誉めの言葉をいただきました。

今回の修学旅行の成果をさらに高めていけるよう、6月1日の体育祭、2日の音楽大行進、8日の知里幸恵生誕祭、そしてさらに、中連陸上大会、球技格技大会に向けて生徒達の力を付けていけるよう教職員全体で取り組んでいきたいと思ひます。どうか今後の学校・地域行事の中で、保護者・地域の皆様にもご声援・ご支援いただけますよう心からお願い申し上げます。

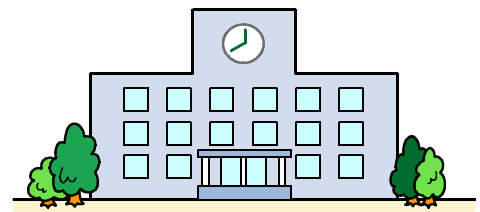
コ ラ ム

学 校 教 育 は 、 今

将来の変化を予測することが困難な時代を前に、子供たちには、現在と未来に向けて、自らの人生をどのように拓いていくかが求められています。予測できない未来に対応するためには、社会の変化に受け身で対処することや、解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解ける力を育むだけでは不十分です。問題に対し主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮していくことが重要であり、仲間と協力して問題解決に当たる人間力を身につけることも必要となります。

そのためには、これからの子供たちには、社会の加速度的な変化の中でも、社会的・職業的に自立した人間として、高い志と意欲をもって、知識や経験を糧に膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、「自ら問いを立てて」その解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力を身に付けさせたいと思っています。

現在、本校においても、新学習指導要領への移行・完全実施に向けて、少子高齢化時代を見据えて、子供たち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を確実に育成していくこと、学校のあり方や学習内容について検討しています。これまで校内研修で積み重ねた内容を基に、ご家庭や地域の方々と「地域に開かれた教育課程」について、ともに考える機会を設けていきたいと考えています。



(次号は、学校における働き方改革について)

5月の学校日記

《交通安全教室》

5月1日（火）に、「交通安全教室」を開催しました。本校では、全員自転車通学を行っており、交通安全に対しては、より高い自覚が必要となってきます。そこで、例年、外部指導者の方をお招きして、交通安全の正しい知識と技能を習得するための安全教室を開催しております。今年も昨年に引き続き、旭川市交通安全運動推進委員会推進委員の黒坂 正様を講師にお迎えしました。安全教室では、プロジェクターを使って、旭川市内で起きた交通事故のデータや最近大きな社会問題となっている「自転車乗用中の事故」についても詳しく説明していただきました。



【もし、自転車を運転中に加害者になってしまったら…】

- ①負傷者の救護 ②危険防止の措置（二次被害を防ぐ）
- ③警察への報告 ④保護者・学校に連絡
- ⑤相手方の確認

☆確認です！

・自動車も、自転車も、道路交通法上では全く同じ車（車両）となります。大人も、中学生も、同様に安全運転義務が生じます。

《前期 生徒総会》

5月10日（木）に、「前期 生徒総会」を行いました。生徒会活動とは、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりを行うための取組です。したがって、生徒全員の参加による自治的な活動が中心となります。生徒総会では、前年度後期の活動反省と前期の活動計画が、生徒会本部をはじめ、8つの常任委員会からありました。また、審議の中では、各クラスからすばらしい意見や質問も出され、学校改善に結びつく約半年間の動きを決めることができました。



また、校長先生の冒頭のお話の中で、生徒と教職員が一緒に目指す今年の目標「3つのステップアップ」に関わり、「4月よりも“あいさつ”がとてよくなくなってきています」と生徒たちの頑張りを讃えていました。旭川No.1のあいさつを目指して、今後も頑張っていきたいと思います。

「チーム北門中学校」を築くための3つのステップアップ

- ①旭川1の挨拶 ②思いやりのある言葉と態度
- ③ありがとうの気持ちを伝える感謝の心

《避難訓練》

5月11日（金）に、今年度1回目の避難訓練を実施しました。本校では、春と秋の2回、避難訓練を行っていますが、今回は、旭川北消防署のご協力を得て、火災の発生を想定した訓練を実施しました。当日は、①避難経路を確認し、短時間で避難する。②火災時の避難に際し、冷静に秩序ある行動をとり、防災への意識を高める。この2つを目標として行いました。当日は、予定通りにグラウンドに避難することができましたが、訓練という甘さも影響し、私語で注意を受ける場面もありました。今後も、防災についての心構えや意識をしっかりと高めていく必要があると考えています。

《修学旅行（3年）》

5月13日（日）～16日（水）の日程で、「中学校最大のイベント」と言われる修学旅行が行われました。『学知利行(がくちりこう)』※意味&願い…修学旅行を通して、社会性や郷土の文化を学び、その経験を私たちの成長につなげよう)のスローガンの下、生徒たちは、日頃の学校の授業では学ぶことのできない、たくさんの貴重な経験を積むことができました。また、仲間と寝食を共にすることで、友達の新たな一面を見つけ、さらに仲を深めることができました。

また、この旅行の最大の目標である「学年集団としての質の向上」という点においては、日を追うごとに集団としてのまとまりができ、帰着時には一回り大きく成長した姿を見ることができました。今後は、この経験を生かしながら、さらに高みを目指して努力してほしいと期待しています。

【旅行日程】

1日目：札 幌 劇団四季ミュージカル鑑賞『ライオンキング』

☆ライオンキングのアンコールでは、会場の拍手にカーテンコールが8回も！生徒もスタンディングオベーションで応えました。初日から感動のスタートでした！

2日目：函 館 函館市内自主研修、函館山夜景鑑賞

☆前日の雨雲を吹き飛ばし、函館は朝から晴天！絶好の自主研修日和。全班、終了時間に研修を終え、プロジェクトは大成功！函館山の夜景鑑賞では、スキヤハートの街明かりを見つけて大騒ぎ。帰りの車内でもワイワイとにぎわっていました！

3日目：ニセコ ラフティング体験

☆雪解けで増水した尻別川はラフティングに最適状態！ウェットスーツに身を包み、水しぶきを浴びながら急流をゴムボートで下りました。途中、川に飛び込み、心地よい汗をかくことができました。

4日目：ルスツ ルスツリゾート体験

☆最終日、ルスツでしか味わうことができない超絶叫体験に生徒は大満足。変化に富んだ8つのコースターでルスツの空を駆け巡りました。車酔いすると言っていた生徒もコースターは別物！笑顔で楽しめました！



（劇団四季シアターに向かう）



（函館自主研修）



（函館公会堂にて）



（五稜郭タワーにて）



（五稜郭タワーにて）



（ルスツリゾートにて）

《炊事遠足（１年）》

５月１５日（月），１学年単独の行事である炊事遠足を行いました。当日は，朝から快晴となり，見事な遠足日和となりました。生徒たちは，学校を出発し，イオン旭川西店で買い物をした後，目的地である春光台公園に向かいました。現地では，班員で分担・協力して，カレー・おシチュー作り。そしてデザート作りに挑戦しました。予想以上に調理に時間がかかってしまうハプニングもありましたが，どの班もおいしい料理を完成させることができました。準備から後片付けまで，みんなでしっかりと協力することができ，さらに，学級・学年の親睦を深めることができました。学校に到着した生徒たちの顔からは，ほどよい疲労感と満足感を感じ取ることができました。

☆生徒の感想から…（一部抜粋）

・春光台公園で炊事をしたときに，手分けをして楽しくできてとてもよかった。しかし，計画作りの時に，もう少し意見を出したり，計画をしっかり立てるべきだった。でも，みんなケガなく，楽しく，事故もなく，炊事遠足をすることができたのでよかったと思う。



今年度もお世話になります！

☆昨年に続き，退職教員等外部人材活用事業で田中先生にご指導いただくことになりました。田中先生には，数学科の授業において，習熟度別少人数指導やティーム・ティーチングなど，生徒たち一人一人のきめ細かな指導にご協力いただきます。

＊原則，毎週，月～木に来校し，全学年でお世話になります。

【田中喜久男先生】



【寺崎真一郎カウンセラー】



☆本年度もスクールカウンセラーとして寺崎真一郎先生が配属となりました。相談日は，基本的に月曜日の午後１時から６時までとなっています。生徒だけではなく，保護者を対象とした相談も行っています。詳細につきましては，各担任または，教頭まで電話でお問い合わせください。また，毎月発行予定の「カタルーム通信」も是非ご一読ください。

＊６月の出勤予定日…４日（月），１１日（月），１８日（月）
２５日（月）

※１３：００～１８：００